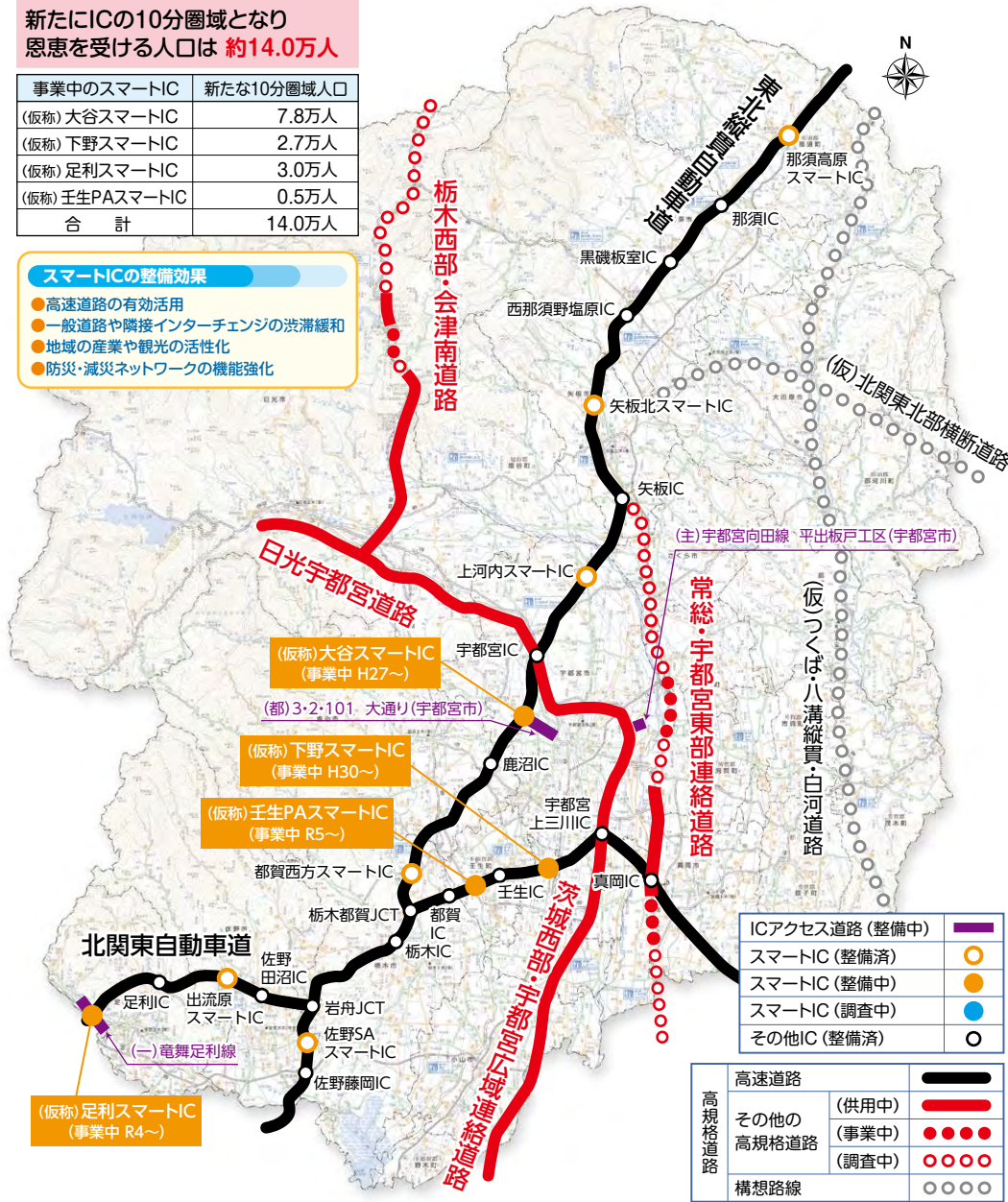


新たにICの10分圏域となり  
恩恵を受ける人口は 約14.0万人

| 事業中のスマートIC       | 新たな10分圏域人口 |
|------------------|------------|
| (仮称) 大谷スマートIC    | 7.8万人      |
| (仮称) 下野スマートIC    | 2.7万人      |
| (仮称) 足利スマートIC    | 3.0万人      |
| (仮称) 壬生PASmartIC | 0.5万人      |
| 合計               | 14.0万人     |

スマートICの整備効果

- 高速道路の有効活用
- 一般道路や隣接インターチェンジの渋滞緩和
- 地域の産業や観光の活性化
- 防災・減災ネットワークの機能強化



| ICアクセス道路 (整備中) |   |
|----------------|---|
| スマートIC (整備済)   | ○ |
| スマートIC (整備中)   | ● |
| スマートIC (調査中)   | ● |
| その他IC (整備済)    | ○ |

| 高規格道路     |                                  |
|-----------|----------------------------------|
| 高速道路      | ——                               |
| その他の高規格道路 | —— (供用中)<br>—— (事業中)<br>—— (調査中) |
| 構想路線      | ○○○○                             |

【高規格道路】：高速道路やそれを補完する地域高規格道路などで構成され、我が国の経済活動を支えるとともに、頻発・激甚化、広域化する災害からの復旧・復興を図るため、主要な都市や重要な空港・港湾を連絡する道路(令和3年に全国各ブロック毎に策定した「新広域道路交通計画」において指定)

# 高規格道路の充実・強化

## 高規格道路の整備

栃木県では「茨城西部・宇都宮広域連絡道路」「常総・宇都宮東部連絡道路」「日光宇都宮道路」「栃木西部・会津南道路」の4路線が**高規格道路**に位置付けられています。

## スマートIC及びアクセス道路の整備

高速道路が持つ多様な機能を十分に発揮させるためには、**スマートICの整備**によるインターチェンジ間の長大区間解消、地域高規格道路やスマートインターチェンジへ**アクセスする道路の整備**等が必要です。

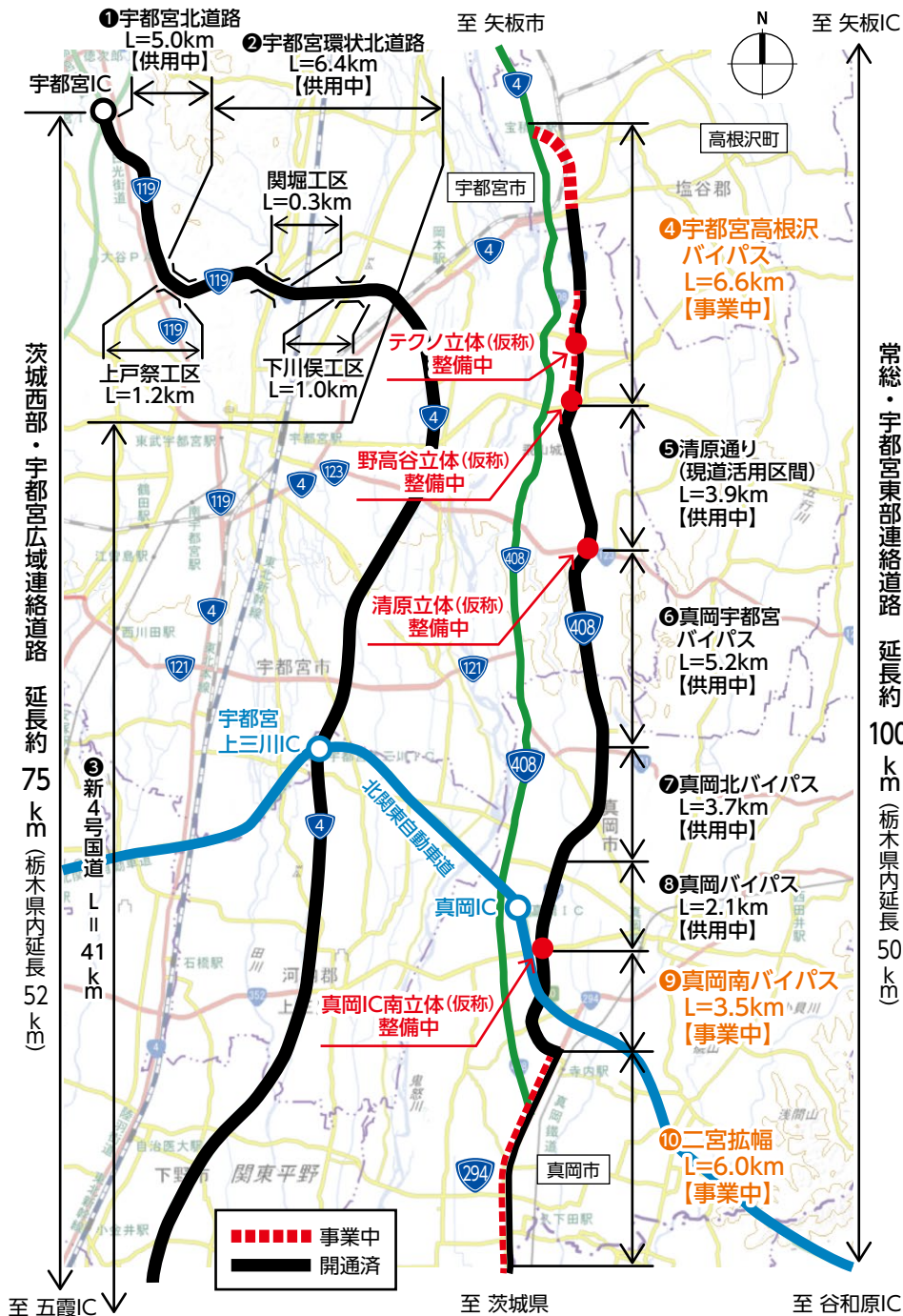


下野スマートIC (完成予想図)  
(2018年～事業中)



都賀西方スマートIC  
(2023.9 供用開始)

# (1) 成長を支える広域道路ネットワークの充実強化



## 栃木県経済の中核を支える「茨城西部・宇都宮広域連絡道路」

|    |                             |
|----|-----------------------------|
| 起点 | 首都圏中央連絡自動車道五霞IC (茨城県猿島郡五霞町) |
| 終点 | 東北縦貫自動車道宇都宮IC (栃木県宇都宮市)     |
| 延長 | 75km (栃木県内延長52km)           |

### 1 国道119号 宇都宮北道路 (L=5.0km: 供用中)

### 宇都宮環状道路と東北縦貫自動車道日光宇都宮道路 宇都宮ICを直結

宇都宮市の産業経済を支える交通の核となる宇都宮環状道路と東北道宇都宮ICを直結し、人口約52万人を擁する北関東最大都市に相応しい高速利便性・定時性を確保します。

### 2 国道119号 宇都宮環状北道路 (L=6.4km: 供用中)

### 宇都宮環状道路の交通円滑化

宇都宮北道路と連携し、東北道宇都宮ICへの広域交通のアクセス強化の他、宇都宮環状道路の交通の円滑化を図り、地域産業の活性化や広域的な交通・連携を促進します。



宇都宮環状北道路 上戸祭立体供用状況 2022.7

### 3 新4号国道 (L=41km (栃木県内): 供用中)

### 宇都宮・小山両地区を強力に連携

県内の産業の中心である宇都宮地区と、小山地区を強力に連携するとともに、圏央道へのアクセス強化による観光及び産業活動を支援します。

## 先導的生産技術の世界へ送り出す「常総・宇都宮東部連絡道路」

|    |                          |
|----|--------------------------|
| 起点 | 常磐自動車道谷和原IC (茨城県つくばみらい市) |
| 終点 | 東北縦貫自動車道矢板IC (栃木県矢板市)    |
| 延長 | 100km (栃木県内延長50km)       |

### 宇都宮地区と芳賀地区の高度技術産業拠点の連携を強化

国道408号の各バイパスと連携し、沿線工業団地群の製品輸送の利便性を向上させるとともに、宇都宮地区と芳賀地区の高度技術産業拠点の連携を強化し、栃木県の産業活動を支援します。



宇都宮高根沢バイパス野高谷立体(仮称)整備状況 2023.9

### 4 国道408号宇都宮高根沢バイパス (L=6.6km: 事業中)

### 5 (都) 3・3・107 清原通り (L=3.9km: 供用中)

### 6 国道408号 真岡宇都宮バイパス (L=5.2km: 供用中)

### 7 国道408号 真岡北バイパス (L=3.7km: 供用中)

### 8 国道408号 真岡バイパス (L=2.1km: 供用中)

### 9 国道408号 真岡南バイパス (L=3.5km: 事業中)

### 10 国道294号 二宮拡幅 (L=6.0km: 事業中)

### 連担する工業団地と北関東自動車道真岡ICを連絡

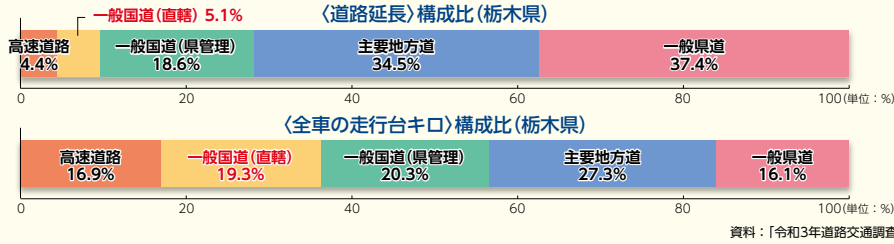
沿線の真岡第1～第5工業団地や内陸最大級の工業団地である清原工業団地から、北関東道真岡ICへのアクセスを強化し、製品輸送の利便性を向上させます。

# 直轄国道の機能強化

## 重要な役割を担う直轄国道

直轄国道の4号と50号は、延長では栃木県内幹線道路の約5%ですが、交通量では約19%を分担しています。

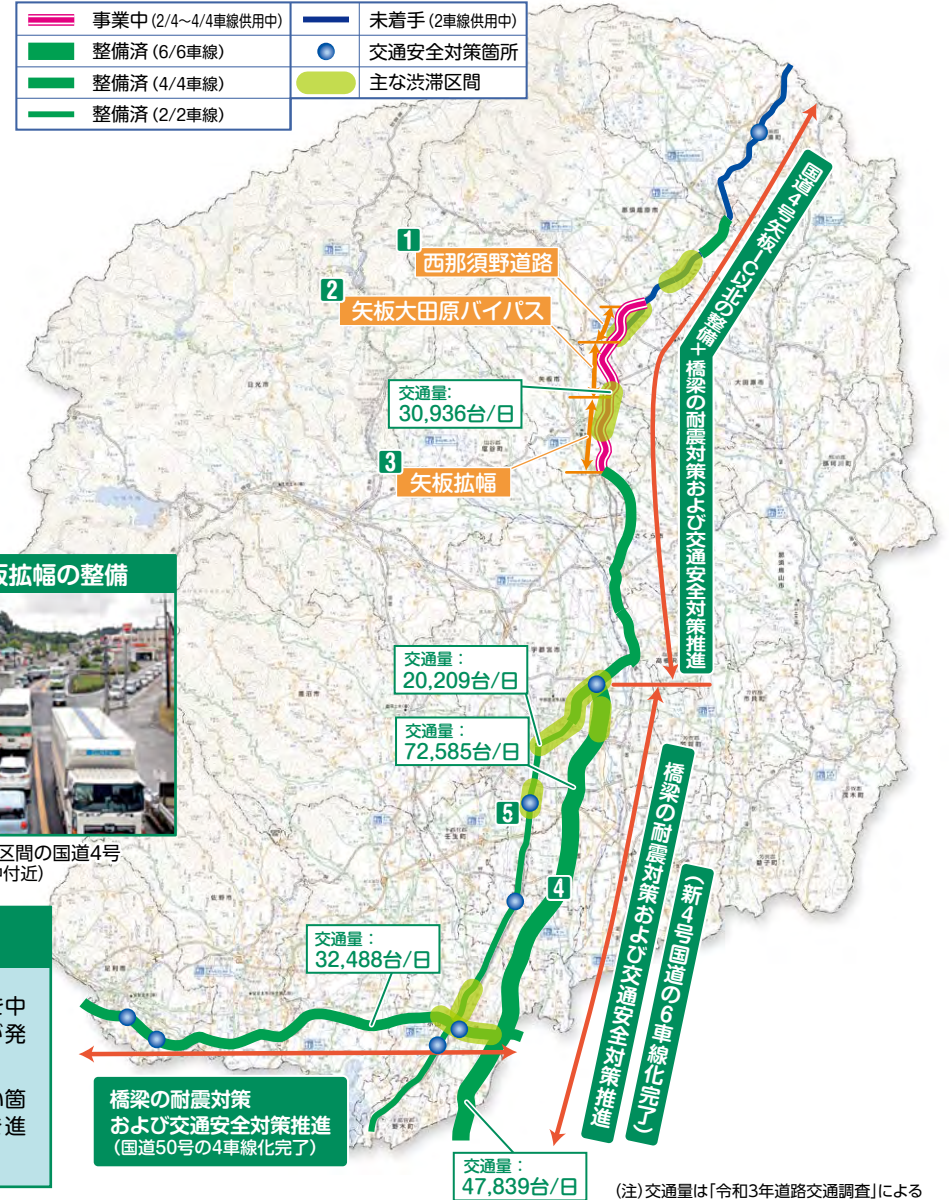
### 道路種別ごとの交通分担率 (走行台キロ分担率)



## 直轄国道の整備

凡例 (令和3年度末現在)

|                    |              |
|--------------------|--------------|
| 事業中 (2/4~4/4車線供用中) | 未着手 (2車線供用中) |
| 整備済 (6/6車線)        | 交通安全対策箇所     |
| 整備済 (4/4車線)        | 主な渋滞区間       |
| 整備済 (2/2車線)        |              |



### 1 国道4号 西那須野道路の整備



那須塩原市西富山地区の施工状況

### 2 国道4号 矢板大田原バイパスの整備



沿道に住宅が立ち並び混雑する国道4号 (大田原市 上石上付近)

### 3 国道4号 矢板拡幅の整備



渋滞している未整備区間の国道4号 (矢板市 中付近)

### 4 新4号 6車線化



平成25年4月に県内の新4号全区間が6車線化完了

### 5 交通安全対策



国道4号小山市粟宮地区の通学路安全対策

### 現4号の強化

- 現4号は、市街地を中心に事故、渋滞が発生しています。
- 事故、渋滞が著しい箇所について対策を進めていきます。

# 広域的な地域連携強化・国土強靱化

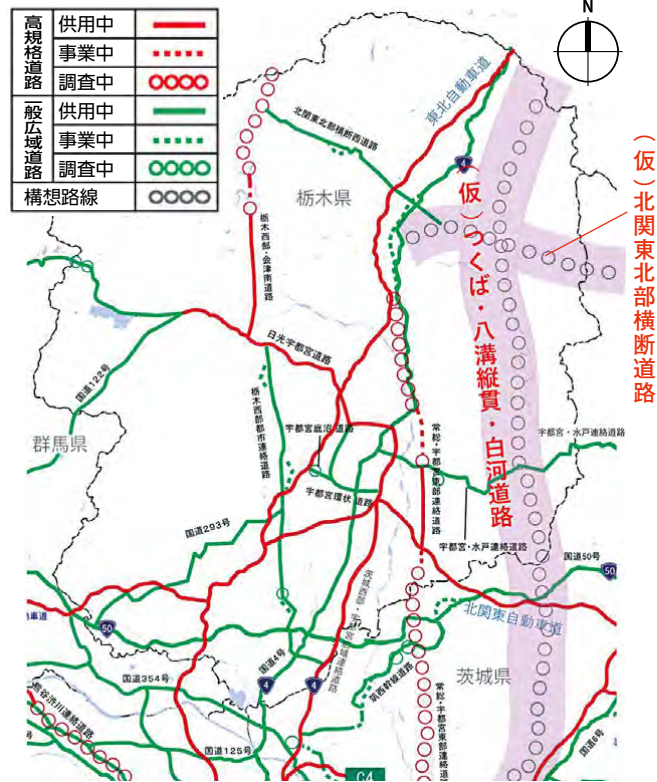
## (仮称)つくば・八溝縦貫・白河道路 (仮称)北関東北部横断道路 について

- (仮称)つくば・八溝縦貫・白河道路は栃木県東部の八溝地域を南北に縦貫し、(仮称)北関東北部横断道路は東西に横断する広域道路の構想であり、県域を越えた連携・交流の促進や国土強靱化に貢献する路線として期待されています。
- 本道路は、栃木県の「とちぎの道路・交通ビジョン2021」や国の「広域道路交通計画」における広域道路ネットワークのうち「構想路線」に位置付けられています。

### ■とちぎの道路・交通ビジョン2021 (栃木県)



### ■関東ブロック 新広域道路交通計画



### 八溝地域とは？

白河市南部から本県の茨城県境を南下し筑波山に至る山地を八溝山地と称することから、県東部を広く表す地名として使われています。



### ■整備により期待される効果

- **国際交流拠点や全国とのネットワーク強化**  
空港(福島・茨城・成田)や港湾(茨城・鹿島)へのアクセス性向上、県域を越えた交流連携の強化、国土強靱化など多様な効果が期待され、平常時・災害時を問わない安定的な人流・物流を支えます。
- **産業振興・地域連携の強化**  
県北・県東地域で盛んな畜産酪農業をはじめとする農業の振興(安定的な供給、飼料の調達)を支えると共に、既存産業団地の分譲促進や新たな企業立地を支援します。
- **周遊観光の支援**  
豊かな自然や観光地など、数多くの地域資源が点在する八溝地域の地域間連携・周遊観光を支援します。

# 広域的な地域連携強化・国土強靱化

## 国道120・121号について

全国的な広域道路ネットワーク整備の観点から重要な路線のうち、**難易度の高い技術的課題を持つ広域道路**の整備については、**国と連携した取組が必要です。**



### 安全で円滑な交通の確保「国道121号」 独鈷沢地区～藤原地区 (L=約14km)

- 国道121号は山形県米沢市を起点に、福島県会津若松市を経由し、栃木県益子町を終点とする、東北地方と関東地方を結ぶ広域幹線道路です。
- 当該区間は、急峻な地形で、異常気象時通行規制区間や特殊通行規制区間があり、防災上の課題が集中しています。
- 落石や狭隘箇所等の箇所を解消し、安全で円滑な交通を確保するとともに、東北地方との連携を強化し、東北自動車道や国道4号の代替機能の強化が必要です。
- このうち、施工の技術的難度が高い区間については、国による直轄権限代行業業（日光川治防災）として整備しています。



法面からの落石



川治温泉の道路状況



(国) 121号 藤原地区【被災状況】

### 産業経済活動等の活性化「国道120号」 金精峠 (L=約6km)

- 国道120号は、栃木県から長野県を結ぶ「日本ロマンチック街道」にも位置付けられ、長野県軽井沢町、群馬県草津町、日光市など主要観光地を結ぶ重要な路線です。
- このうち、栃木・群馬県境に位置する金精峠は、標高1,800mを超える急峻な山岳地帯にあり、冬期は積雪により通行止めを余儀なくされています。
- 地域の産業経済活動等の活性化や、大規模災害時における奥日光地域の孤立を防ぐためにも、通年通行化による機能の強化が必要です。



金精峠の雪崩状況 (道路)



冬期閉鎖前の金精トンネル



除雪の状況

# 栃木西部都市連絡道路

県西部の主要都市を連携する幹線道路

## 国道121号 ①文挾BP

本路線は、地域間の交流連携を担う広域幹線道路であるとともに、当該路線自体が「日光杉並木街道」として特別史跡と特別天然記念物の二重指定を受けている重要な道路です。

バイパスを整備することで通過交通を転換し、杉並木の生育環境を改善するとともに、安全で円滑な通行を確保し、地域間の交流連携の強化を図ります。

①文挾BP：L=3.5km W=14.5m、R1～事業中

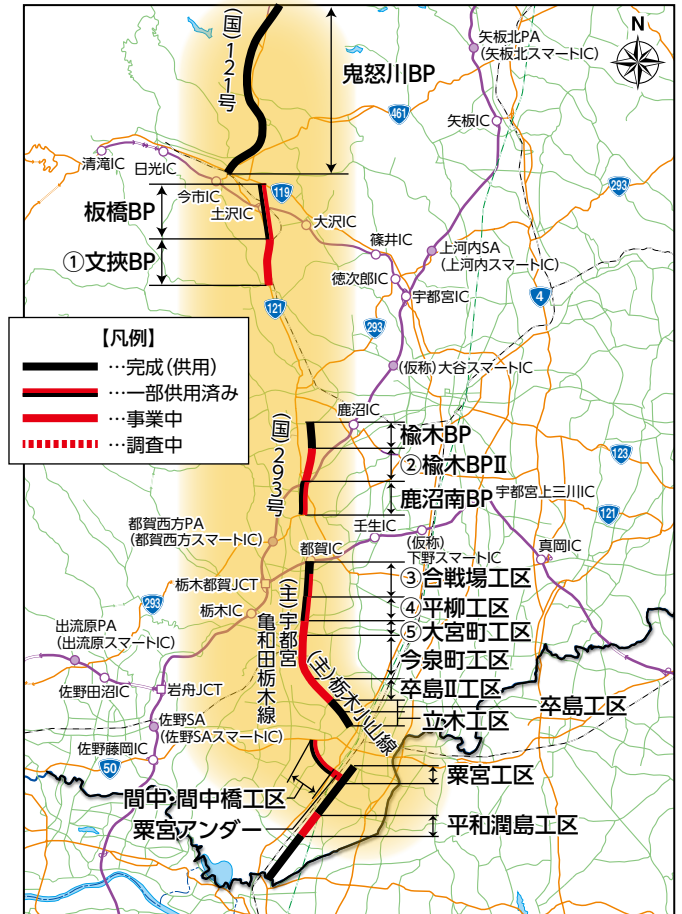


## 国道293号 ②楡木BPⅡ

本路線は茨城県日立市と栃木県足利市を結ぶ幹線道路であり、県西部においては主要都市間を南北に連絡し、広域的な交通を担う道路として重要な路線です。

バイパスを整備することで、鹿沼市街地中心部における国道の路線重用区間(国道121号及び352号)の渋滞解消を図るとともに平常時・災害時を問わず安全で信頼性の高い道路ネットワークを確保します。

②楡木BPⅡ：L=3.0km、W=22.0m、R2～事業中



## 主要地方道宇都宮亀和田栃木線

### ③合戦場工区、④平柳工区、⑤大宮町工区

本路線は宇都宮市から栃木市を経由し小山市に至る幹線道路ですが、当該区間は交通容量が不足し、慢性的に渋滞が生じています。現在、整備を進める区間は小山市と都賀ICを結ぶ都市計画道路3・3・3小山栃木都賀線の路線上に位置し、安全で円滑な通行を確保するとともに、物流の効率化により産業活動を支援します。

③合戦場工区：L=3.2km、W=25.0m、R2～事業中(4車線化)

④平柳工区：L=1.3km、W=28.0m、H13～H28完了

⑤大宮町工区：L=1.2km、W=38.0m、H26～事業中



## その他一般広域道路

### 宇都宮・水戸連絡道路

#### 主要地方道宇都宮向田線 ⑥板戸大橋

本路線は、JR宇都宮駅から新4号国道や国道408号を横断し、鬼怒川左岸地域の工業団地群にアクセスする産業・経済活動を支える重要な路線です。

板戸大橋の4車線化により、周辺の主要渋滞箇所の解消や高規格道路「常総・宇都宮東部連絡道路」へのアクセス道路として物流の効率化および地域間の連携・交流の促進が期待されます。

⑥板戸大橋：L=1.0km W=22.0m、R5～事業中



(注)宇都宮向田線 板戸大橋【現在の状況】

### 国道120号

#### 国道120号 ⑦清滝工区

本路線は、日光市山内から群馬県沼田市へ至る幹線道路です。

当該工区の整備により、車線不足による渋滞が緩和され、群馬県から国道120号を利用し、二社一寺までのアクセス向上が図られるなど、観光誘客の促進や地域産業の活性化が効果が期待されます。

⑦清滝工区：L=2.4km W=11.0m、H31～事業中



国道120号 清滝工区【事業中】

### 北関東北部横断西道路

#### 国道400号 ⑧三島・西赤田工区

本路線は、茨城県水戸市から那須塩原市を横断し、福島県西会津町に至る幹線道路であるとともに、西那須野塩原ICに直結し、沿道に多数立地している工業団地にアクセスする観光・産業を支える重要な路線です。

当該箇所の整備により、渋滞が解消され、西那須野塩原ICや工業団地等へのアクセス強化が図られるとともに、直轄事業で整備中の国道4号西那須野道路と一体的に整備することで交通ネットワークの強化が期待されます。

⑧三島・西赤田工区：L=3.1km W=25.0m、H24～事業中



国道400号 三島・西赤田工区【現在の状況】

